

離島を散歩

答志島エリア

鳥羽の離島の中では一番大きな答志島。自然も歴史も旬の食も一度に満喫。

(アクセス) 桃取エリア=鳥羽駅-鳥羽マリンターミナル-市営定期船(後取港)下船 和具エリア=鳥羽駅-鳥羽マリンターミナル-市営定期船(和具港)下船 答志エリア=鳥羽駅-鳥羽マリンターミナル-市営定期船(答志港)下船



桃取エリア

要チェック

ヤマトウチバナ

日本固有種と推定されていて、ここ桃取地区に原産があり、三重県の指定天然記念物にもなっています。鳥羽の「市木」でもあり、この葉を使った様々な製品が開発されています。



① 浮島自然水族館

答志島の沖合にある無人島で、大源の干潮時に合わせて、手つずきの自然観察池、磯の生き物とふれあえます。

桃取エリア (MAP A-2)
TEL 0599-37-3339 (島の旅社)
※ 鳥羽市答志町943 (島の旅社)
※ 市営定期船のりば (後取港) から小型船に乗り換え ※ 夏季のみ (予約要)



② サンビーチ桃取

桃取町にある、自然に囲まれた静かな海水浴場です。夕方はベンチに座って夕日を眺めましょう。

桃取エリア (MAP C-2)
TEL 0599-37-3007 (鳥羽観光協会桃取町支所)
※ 鳥羽市桃取町
※ 市営定期船のりば (後取港) から徒歩約5分

答志島全体図



鳥羽の歴史・文学

鳥羽城を拠点に、大水軍を率いて勇猛果敢に活躍。

戦国武将 九鬼嘉隆 (1542-1600)

戦国武将・九鬼嘉隆は、海上戦術に長け、「水軍の将」と呼ばれました。嘉隆は天下統一を目指す織田信長の配下として、鳥羽水軍を率いて活躍。石山本願寺攻めでは、嘉隆の考案した鉄甲船によって毛利水軍に大勝しました。信長没後は豊臣秀吉に水軍の頭領として重用され、鳥羽城(7.18)を築いて鳥羽を本拠地と定めます。そして朝鮮出兵などで戦果を上げましたが、秀吉が死去すると関ヶ原の戦いで西軍に属して敗北。答志島へと逃れました。一方、嘉隆の子・守隆は東軍に属して勝利し、徳川家康から父の助命を許されます。しかし、その朗報が届く前に嘉隆は自害しました。

③④ 九鬼嘉隆の首塚・冢塚

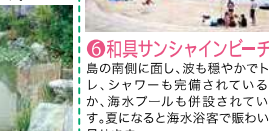
戦国時代、鳥羽城主で水軍の将として活躍した九鬼嘉隆は、ここ答志島で自刃しました。その後、息子の守隆によって首は鳥羽城が見える高台に、胴部は自刃した洞仙庵の近くに葬られました。



答志・和具エリア (MAP E-3)
TEL 0599-25-2844 (鳥羽市観光案内所)
※ 繁忙時は電話に出ることができない場合があります。
※ 首塚・市営定期船のりば (和具港) から徒歩約15分
※ 胴塚・市営定期船のりば (和具港) から徒歩約15分

⑤ 血洗い池

九鬼嘉隆が自刃した際に、その刃を洗ったとされています。



⑥ 和具サンシャインビーチ

島の南側に面し、波も穏やかでトイレ、シャワーも完備されているほか、海水プールも併設されています。夏になると海水浴客で賑わいを見せます。

答志・和具エリア (MAP D-1-2)
TEL 0599-37-2822 (答志島旅館組合)
※ 鳥羽市答志町和具
※ 市営定期船のりば (和具港) から徒歩約10分

寝屋子制度

答志島では、中学を卒業した男子を、地域の世話役の大人が預かって面倒をみるという風習、寝屋子(子)制度が今も続いています。実家での食事や仕事に出掛ける時は寝屋親といわれる世話役で過ごすか、27歳になるまで続けられます。兄弟ではないもの同士が、この制度によって兄弟以上の付き合いをして、絆を深めています。



歩いて見た

答志編

約1時間30分(歩行時間含む)
答志島には、踏地にはお寺の文化の生活がいっぱい詰まっています。

市営定期船のりば(答志港)



⑧ 蟹穴古墳

横穴式石室を持つ古墳。7世紀頃に造られたとされていて、谷村長頸瓶という須惠島が出土し、国の重要文化財に指定されました。

TEL 0599-25-1157 (鳥羽市観光局)
※ 鳥羽市答志町和具
※ 市営定期船のりば (和具港) から徒歩約20分
答志・和具エリア (MAP C-2)



⑨ 美多羅志神社 (P.11)

夫婦で参拝して雌雄のあわびをお供えすると、美しい瞳の子も授かると言われていました。境内には「雌神の子」と呼ばれる、雌の顔の形をした椎の木があります。

TEL 0599-37-2533 (鳥羽市答志町984)
※ 市営定期船のりば (和具港) から徒歩約15分
答志・和具エリア (MAP B-2)



⑧ まるはち

答志地区の家々の戸口や門戸、船などで見られるこの「まるはち」の文字。八幡祭で使用された炭を使って、風除けの印として記されたものです。

